

ブローケンヒル郊外の映画の撮影場所。乾いた大地の中に残るHotelは映画撮影用に建てられたセットです。



世界の地域から

オセアニアの映画都市 (オーストラリア・ニュージーランド)

オーストラリア・ニュージーランドの映画産業都市を紹介します。オーストラリアの乾燥した大地の中、鉱業で栄えたブローケンヒルは、映画「マッドマックスII」の撮影を切っ掛けに映画産業が盛んになった街です。一方、ニュージーランドのウェリントンには、「ロード・オブ・ザ・リング」「ホビット」等の映画で有名なピーター・ジャクソン監督の生まれ故郷で、彼の映画会社「WETA」や多くのロケ地がここにあり、今では国家政策の一つとしてニュージーランド産業の一部を支えています。



ブローケンヒル郊外のロケ地近くのHotel。Hotelの前では実際に映画で使用された車が出迎えてくれます。



Hotelの中には映画「マッドマックスII」の撮影風景の生写真が多数展示されています。



荒野の一本道。大地の果てまで続いているようです。



ブローケンヒル郊外の乾いた土地の風景。

ウェリントンのサイン。空港にアプローチする飛行機の窓から見るができます。以前は、アメリカのハリウッドをもじってウェリウッド（WELLYWOOD）と書いてあったそうですが、ウェリントンを愛する住民の批判があり、WELLINGTONに変えたエピソードもあります。



大きなゴラム。ウェリントン空港の出発ロビーで出会えます。



WETA CAVE。ピーター・ジャクソン監督の映画会社WETA本社の横にある観光施設。映画にまつわるレプリカの展示やショートフィルムを見ることができます。



街の中にある映画カメラモニュメント。エンバシーシアターの正面の歩道にあります。

エンバシー・シアター。「ロード・オブ・ザ・リング/王の帰還」の世界初上映の地。「ホビット」では、ワールドプレミアが開催され、この映画館の正面の道にレッドカーペットが敷かれ、監督をはじめ出演者が歩きました。



セント・ジェームス・シアター。1912年に建造された劇場で100年の歴史があり、ウェリントンでは最大の劇場です。